

BRICS会議で態度豹変 「防疫対策に中国の支援不可欠」



BRICS会議に参加しているボルソナロ大統領 (Marcos Correa/PR)

ボルソナロ大統領は9日、BRICS首脳会議に出発し、世界貿易機関(WTO)の近代化のためにBRICS諸国の「協力の強化」が必要と説くと共に、「コロナ禍での防疫対策に中国の支援は不可欠」と述べた。同日付G1サイトやアジェンシア・ブラジルなどが報じた。

4月に行われた、米国防務省の報告によると、中国の習主席は「コロナ禍での防疫対策に中国の支援が不可欠」と中国を支持する発言が目撃された。

中央銀行と国家通貨審議会(CMN)が、国際的な支払いや送金に関する技術開発や新ビジネスモデルに即するものとなるよう、両替と国際資本に関する規制を変更したと9日付アジェンシア・ブラジルなどが報じた。

両替や国外送金の規制変更 銀行以外の機関の参入許可

中央銀行と国家通貨審議会(CMN)が、国際的な支払いや送金に関する技術開発や新ビジネスモデルに即するものとなるよう、両替と国際資本に関する規制を変更したと9日付アジェンシア・ブラジルなどが報じた。

銀行以外の機関の参入許可。規制では両替などの取引を行うのは銀行と証券会社のみだ。同許可は2022年9月1日、その他の措置は今年10月1日から発効となる。

新規制では、e-FXのプラットフォームを使って送金する顧客が持つべき口座は、顧客が持つべき口座から他の顧客の口座へも、一人の顧客が国内に持つ口座と国外に持つ口座との間で

中銀は、外国為替市場における国際決済または送金サービスの規制も統合、近代化され、国際的に利用できるカード発行や国際決済を簡便化する企業、国際的な運送業者の仲介・代行業者らの参加を得て行われる、商品やサービスの購入に関する取り扱いは均一化するとの説明している。これからのサービスは、外国為替規制ではe-FXと呼ばれている。

新送電線開設で水危機を他地域へ。連邦政府が11日、北東部で行われている電力や太陽光発電による電力を、少雨・干ばつによる水危機と電力危機に悩む南東部と中西部に送るための送電線を開設したと9日付アジェンシア・ブラジルなどが報じた。

全国5市で市長選やり直し 電子投票に不正なしと選挙高裁

昨年行われた市長選で不正が見つかったりしたため、全国5市で市長選のやり直しが行われた。選挙高裁長官のルイス・パロソ最高裁判事は改めて、現行の電子投票は不正は起きないと強調したと13日付アジェンシア・ブラジルなどが報じた。

12月31日まで。選挙高裁のパロソ長官は12日、リオ州での市長選の投票作業に立会い、「電子投票は本当に安全だ。我が国では1996年からずっと現行方式を採用しており、不正が起きた痕跡は一度もない。だが、同方式に対する疑問を持つている市民がいるならば、公的機関は社会的責任を遂げるべきだ」と述べた。

2015年の入札で成立した事業で、拡張する事も可能だ。開設された送電線は総延長542キロに及び、三つの変電所と共に、パイア州とミナス州との間の電力送信システムに組み込まれる。



各地インフレ率の広範なニュース

12月最大のインフレ率は2.8%値上がりした。8月のインフレ率は2.0%で、12月間の平均は2.4%の4倍近い間で見ると、ガソリンは39.09%、エタノールは62.22%、ジャガイモは19.91%、挽いたコヒビ17.51%、野菜や緑黄色野菜5.70%、電気代は21.08%値上がりした。

17%、部位別に分けた鶏肉4.47%など。玉ねぎとたまごは3.71%と2.09%安くなった。居住費は光熱費の値上がり(電気1.10%)、台所用液化ガス2.40%、台所用天然ガス2.70%など、0.68%上昇した。

36時間毎に給水制限1年以上。91年間で最悪の少雨と干ばつで苦しむ伯国だが、パラナ州州都のクリチバ市とその周辺の計14市ではもう1年以上給水制限が行われていると9日付アジェンシア・ブラジルなどが報じた。

パラナ州内14市で給水制限。パラナ州西部のカスカス、カルポレイラ、カンポ・グランデ市では48.83%にあたる3270票を獲得したオ・イジノ氏(共和党)が、ペドロ・ド・アンタ市では72.23%の1849票を得たエドゥアルド・ジョゼ・ヴィア

狂犬病の予防接種を忘れずに。9月12月に移動ステーション開設。予防接種は生後3カ月から受けられるが、下痢を起している時や、病

12カ月のインフレ率6.68%に クリチバなど8州都で10%超

地理統計院(IBGE)が8月の広範消費物価指数(IPCA)は、0.87%、12カ月間の累積は9.68%上昇した。16地域中8州都は累積インフレ率が10%を超えたと発表したと9日付アジェンシア・ブラジルなどが報じた。

8月最大のインフレ率は2.8%値上がりした。8月のインフレ率は2.0%で、12月間の平均は2.4%の4倍近い間で見ると、ガソリンは39.09%、エタノールは62.22%、ジャガイモは19.91%、挽いたコヒビ17.51%、野菜や緑黄色野菜5.70%、電気代は21.08%値上がりした。

12月最大のインフレ率は2.8%値上がりした。8月のインフレ率は2.0%で、12月間の平均は2.4%の4倍近い間で見ると、ガソリンは39.09%、エタノールは62.22%、ジャガイモは19.91%、挽いたコヒビ17.51%、野菜や緑黄色野菜5.70%、電気代は21.08%値上がりした。

12月最大のインフレ率は2.8%値上がりした。8月のインフレ率は2.0%で、12月間の平均は2.4%の4倍近い間で見ると、ガソリンは39.09%、エタノールは62.22%、ジャガイモは19.91%、挽いたコヒビ17.51%、野菜や緑黄色野菜5.70%、電気代は21.08%値上がりした。

狂犬病の予防接種を忘れずに。9月12月に移動ステーション開設。予防接種は生後3カ月から受けられるが、下痢を起している時や、病

狂犬病の予防接種を忘れずに。9月12月に移動ステーション開設。予防接種は生後3カ月から受けられるが、下痢を起している時や、病

狂犬病の予防接種を忘れずに。9月12月に移動ステーション開設。予防接種は生後3カ月から受けられるが、下痢を起している時や、病

12月最大のインフレ率は2.8%値上がりした。8月のインフレ率は2.0%で、12月間の平均は2.4%の4倍近い間で見ると、ガソリンは39.09%、エタノールは62.22%、ジャガイモは19.91%、挽いたコヒビ17.51%、野菜や緑黄色野菜5.70%、電気代は21.08%値上がりした。

12月最大のインフレ率は2.8%値上がりした。8月のインフレ率は2.0%で、12月間の平均は2.4%の4倍近い間で見ると、ガソリンは39.09%、エタノールは62.22%、ジャガイモは19.91%、挽いたコヒビ17.51%、野菜や緑黄色野菜5.70%、電気代は21.08%値上がりした。

12月最大のインフレ率は2.8%値上がりした。8月のインフレ率は2.0%で、12月間の平均は2.4%の4倍近い間で見ると、ガソリンは39.09%、エタノールは62.22%、ジャガイモは19.91%、挽いたコヒビ17.51%、野菜や緑黄色野菜5.70%、電気代は21.08%値上がりした。

12月最大のインフレ率は2.8%値上がりした。8月のインフレ率は2.0%で、12月間の平均は2.4%の4倍近い間で見ると、ガソリンは39.09%、エタノールは62.22%、ジャガイモは19.91%、挽いたコヒビ17.51%、野菜や緑黄色野菜5.70%、電気代は21.08%値上がりした。

12月最大のインフレ率は2.8%値上がりした。8月のインフレ率は2.0%で、12月間の平均は2.4%の4倍近い間で見ると、ガソリンは39.09%、エタノールは62.22%、ジャガイモは19.91%、挽いたコヒビ17.51%、野菜や緑黄色野菜5.70%、電気代は21.08%値上がりした。

12月最大のインフレ率は2.8%値上がりした。8月のインフレ率は2.0%で、12月間の平均は2.4%の4倍近い間で見ると、ガソリンは39.09%、エタノールは62.22%、ジャガイモは19.91%、挽いたコヒビ17.51%、野菜や緑黄色野菜5.70%、電気代は21.08%値上がりした。

12月最大のインフレ率は2.8%値上がりした。8月のインフレ率は2.0%で、12月間の平均は2.4%の4倍近い間で見ると、ガソリンは39.09%、エタノールは62.22%、ジャガイモは19.91%、挽いたコヒビ17.51%、野菜や緑黄色野菜5.70%、電気代は21.08%値上がりした。



日系企業にコロナ対策を聞く

食品・アミノ酸製造販売

ブラジル味の素社

ブラジルで事業を行う日系企業の「新型コロナウイルス感染症防止対策」について、第2回目は、ブラジル味の素社の佐々木達哉社長に話を聞いた。

社長が指揮を執る「Covid-19」のタスクフォース

ブラジル味の素社は、サンパウロ市内に本社事務所、サンパウロ州リメイラ、ランジャウ・パウリス、バルパイゾ、ペデルネイラスの4カ所に工場、ブラジル全土に営業網があり、約3100人の従業員を擁する。



佐々木達哉社長 (提供写真)

同社ではコロナ禍に入ると同時に、佐々木氏が指揮を執る「Covid-19」のタスクフォースが設立され、本社と各工場がガイドラインを作成し、感染対策を徹底していった。

社内製造のアルコールジェル

工場の製造工程では以前から一部でアルコールを原料としていた。それが

コロナ禍での寄付活動

佐々木氏は「多くのプ

心身の健康相談も

コロナ禍ではウイルスの脅威だけでなく、長期にわたるホームワークで心身ともに疲弊してしま

コロナ禍でも堅調なエッセンシャル事業

コロナ禍により家で食事をする人が増え、調味料や食品の売り上げが伸び、同社にとってビジネスは堅調である。

東京オリパラ選手を「勝ち飯」(Kachi-meshi)で支援

ブラジル味の素社は2019年から、東京オリピック・パラリンピックに向けた「ビクトリアプロジェクト」を立ち上げ、大会出場候補選手たちの栄養とメンタルをサポートしてきた。

日本政府支援事業 ◆サンパウロ日伯援護協会 ◆コロナ感染防止キャンペーン

社長自らタスクフォース指揮

新型コロナ感染対策



好評のアルコールジェル (提供写真)



リメイラの工場に設置された消毒用電解水の噴霧器 (提供写真)



工場内の産業医の案内 (提供写真)

ブラジル味の素社



サンパウロ市内の本社 (提供写真)

ブラジル味の素社 Ajinomoto do Brasil

1956年に設立。世界的なアミノ酸のリファレンスとして、国内外の食品、外食、化粧品、スポーツ、製薬、動物栄養、アグリビジネス業界に製品を提供する。

【公式サイト】www.ajinomoto.com.br



ブラジル味の素社が寄付する自社製品を加えたフードバスケット (提供写真)

本記事は、日本政府支援事業に基づき、サンパウロ日伯援護協会が実施している「コロナ感染防止キャンペーン」の一環です。



本記事は、日本政府支援事業に基づき、サンパウロ日伯援護協会が実施している「コロナ感染防止キャンペーン」の一環です。

飲食の場面におけるコロナ感染症対策のお知らせ

飲食店の感染対策ポイント: 国民の皆様へ ~飲食店を選ぶ際のポイント~

飲食店に行く際は、できるだけ、家族か、4人まででお願いします!



東京オリパラ選手に提供された「勝ち飯」(Kachi-meshi) (Photo by Divulgação/COB)

「弊社では、私自身もブラジルの企業だと思っ